

市議会だより

No.225

令和4年5月10日発行

編集／発行

福井市議会だより編集委員会

福井市大手3丁目10番1号

TEL.0776-20-5506



和のいいね!

いまの時代、自分からアピールしなきゃ!

ふくい桜マラソンTRIAL RUN 2022

3月 定例会 (2月18日～3月23日)

市長提出の議案40件、報告3件を
審議しました

主な議案は2ページ

審議結果は10～11ページ

議員提出の議案3件を審議しました

審議結果は11ページ

陳情2件を審議しました

審議結果は11ページ

議員23人が一般質問を行いました

詳細は4～9ページ

委員会審査

詳細は3ページ

予算特別委員会審査

詳細は9～10ページ

↑ 福井市春爛漫

令和6年春北陸新幹線福井開業に合わせて開催する「ふくい桜マラソン」をPRするため、「ふくい桜マラソン TRIAL RUN 2022」が、3月27日に福井市中央公園周辺などで開催されました。2年後の大会を待ちわびるランナーたちが健脚を競い合っていました。(下枠写真)

また、同月31日には、福井市での桜開花が発表され、咲き誇る桜が、花見客の目を楽しませていました。(写真：狐川の桜並木)

主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。議案等の審議結果は、10ページに掲載しています。

令和4年度当初予算

令和4年度当初予算は、第八次福井市総合計画の初年度にあたることから、将来都市像「みんなが輝く全国に誇れるふくい」の実現に向け、ウイズコロナ及びアフターコロナを見据えながら、北陸新幹線開業とその先の輝く未来に向けて着実に歩みを進める予算です。

2年後に控えた北陸新幹線開業に向けては、県都の顔づくりのハード整備やふくいプロ

モーション事業など開業効果を最大限に引き出すため、総仕上げに取り組みます。

また、輝く未来を切り拓き、持続可能な社会の実現に向け、DX(デジタル・トランスフォーメーション)やゼロカーボン、地方創生、子育て・少子化対策、防災・減災に取り組めます。

これらを踏まえつつ、「福井市財政計画」に掲げた「収支均衡した財政構造を継続した予算として編成したものです。(各会計予算は左記の表参照)

令和4年度 各会計予算総括表

(単位:千円)

会計区分	予算額
一 一般会計	123,305,000
国民健康保険	21,596,000
国民健康保険診療所	0
後期高齢者医療	4,652,000
介護保険	27,089,000
母子父子寡婦福祉資金貸付	20,000
競輪	16,766,000
宅地造成	136,000
中央卸売市場	889,000
駐車場	105,000
集落排水	856,000
地域生活排水	182,000
企業会計	
水道事業	7,580,000
簡易水道事業	708,000
下水道事業	21,670,000
合計	225,554,000

「予算のポイント」となる事業

- ① 快適に暮らすまち
 - ・越美北線利用促進事業
 - ・シェアサイクル活用促進事業
 - ・市街地再開発事業等支援事業
 - ・おいでよ!福井駅恐竜電プロジェクト
 - ・水防対策DX推進事業
- ② 住みよいまち
 - ・福井とつながる対流拡大事業
 - ・福井でかなえる快適ライフ応援事業
 - ・子ども医療費助成事業
 - ・新型コロナウイルス感染症対策事業
 - ・ごみ処理施設整備事業
- ③ 活き活きと働くまち
 - ・越前水仙Rebornプロジェクト
 - ・ふくい企業価値向上推進事業
 - ・ふくいプロモーション事業
 - ・「千歳くんはラムネ瓶のなか」×「福いいネー」コラボ事業
 - ④ 学び成長するまち
 - ・養浩館庭園アート展示事業
 - ・福井市北部地域学校規模適正化事業

令和3年度補正予算

今回の補正予算は、新型コロナウイルス感染症対応に関する事業や国・県の補助金等に伴う事業などを行うため、一般会計で32億1,348万5千円、

特別会計で6億1,671万3千円、企業会計で4億2,100万円を増額するものです。補正後の一般会計予算額は1,313億2,202万3千円となり、全会計で2,373億916万9千円となります。

条例

○福井市設置条例の一部改正について

福祉保健部の所掌事務は、社会福祉や障がい福祉、こども福祉に関する業務に加え、新型コロナウイルス感染症対策や健康管理など多岐にわたるとともに、業務が増大していることから、同部を「福祉部」と「保健衛生部」に分割するものです。

○福井市市税賦課徴収条例の一部改正について

令和4年度の国民健康保険税について、県より示された標準保険料を参考として、国保会計の収支の均衡を保つよう税率等の改定を行うため、また、「全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律」の施行に伴い、未就学児に係る均等税額の減額措置を導入するため、さらに、他所要の規定の整備等を行うため、条例の

一部改正をするものです。

市会案(議員提出議案)

〈条例〉

○福井市議会委員会条例の一部改正について

行政機構の整備に伴い、教育民生委員会の所管から「福祉保健部」を削り、新たに「福祉部」と「保健衛生部」を加えるものです。

〈意見書の提出〉

○シルバー人材センターに対する支援を求める意見書

地方自治法第99条の規定により、意見書を内閣総理大臣ほか、関係機関に提出しました。

〈決議〉

○ロシア連邦によるウクライナ侵略に抗議する決議について

人事案件

○人権擁護委員

令和4年6月30日をもって任期満了となる田村洋子氏、池上敏和氏、麻生英右氏、坂元秀基氏を引き続き同委員候補者として推薦することに意見を求められ、異議がない旨を答申しました。

委員会審査

各委員会の委員長報告から、主な質疑等の要旨を紹介します。
(委員会終了順に掲載)

財政再建下での持続的市勢発展対策特別委員会

《広域観光について》

問 本市は二次交通が弱く、特に東西の交通の便が悪いが、一乗谷朝倉氏遺跡、まちなか、越前海岸と東西に分かれた観光の拠点をつなぐ交通の充実について、どのように考えているのか。

答 公共交通は移動に時間がかかり過ぎるため、確かに観光客には利用しづらい部分はある。一乗谷朝倉氏遺跡へは、福井駅からバスを走らせており、さらに越美北線の利用促進も図っていききたい。越前海岸へはシーズンにあわせたバス会社の臨時ツアーがある。このほか観光タクシーや、自由にプランが組めるレンタカーなどの二次交通も活用していききたい。加えて、事業者の新たな取組に対しては、行政としても何らかの支援を行い、軌道に乗せていくということも考える必要がある。

要望 財政再建下である一方で、北陸新幹線福井開業とい

う百年に一度のチャンスでもあるため、全庁あげて取り組む内容を考え、大きな視点で、必要なときには必要なお金を出す。必要ないときにはしっかりと締めるといふ大胆なメリハリをつけてほしい。

建設委員会

《底喰川整備事業について》

問 遊水地を改良するとのことだが、遊水地に関してはまだ完全に整備が終了しているわけではないのか。また、底喰川は国道8号の下をくぐる箇所が狭くなっているため、新保地係で水があふれる傾向にある。そこを拡幅すれば水の流れがよくなるのではないかと考えるが、今後の整備検討の中にそれは含まれているのか。

答 遊水地については、たまつた水を川に戻す排水処理にこれまで2日かかっていたものを1日程度で完了できるように、検討を重ねながら改良を実施したいと考えている。また、今後の整備については、本補正予算に計上している段階整備

検討の中で浸水箇所の実態や流れの悪い箇所を再度調査し、よりよい整備手法を検討していききたい。

総務委員会

《福井市部設置条例の一部改正について》

問 3月現在、新型コロナウイルスが蔓延しており、確かに保健所の業務量は増大しているが、いずれは収束するときに伴いワクチン接種推進課もいずれ廃止となる可能性があるのではないかと考える。それでもコロナ後もなお福祉部と保健衛生部に分割したままの体制とするのか。

答 中核市となったことで保健所を設置し、その業務は徐々に拡大していくものと考えており、2つの部に分割した体制を維持していききたい。

経済企業委員会

《一乗谷朝倉氏遺跡活用活性化事業について》

問 一乗谷朝倉氏は福井を代表する観光地であることは分かるが、一乗谷における朝倉氏の歴史はただか西暦十二、三百年頃から始まったもので

ある。もともとは朝倉姓ではなく、兵庫県豊岡市の日高町辺りから、守護大名斯波氏の家臣として福井にやってきて、朝倉を名乗るようになったと聞いている。そういった歴史には全く触れられていないが、それはなぜなのか。

答 過去の文化的・歴史的価値を評価していくことは必要だと考えるが、文化財としての価値のある一乗谷朝倉氏遺跡をメインとした観光を重点的に推進していることから、現時点では、そういった歴史的背景について、今後どうするかは検討していない。

問 斯波氏の家臣であった朝倉氏は、下克上により君主に取って代わり、それ以降に朝倉姓を名乗ったものであり、越後の上杉謙信や甲斐の武田信玄などとは違い、もともと福井が出自である土着の大名ではない。その辺りの歴史をもう少し掘り下げて分かりやすくすべきではないのか。

答 朝倉氏の成り立ちといったところがあって、現在に至っていることから、改めて朝倉氏の由来をきちんと整理する必要があると考える。時間がかかるかもしれないが、今後研究していききたい。

教育民生委員会

《地域再エネ導入のための計画づくり事業について》

問 再生可能エネルギーの導入に向けて、長期的な目標を定めるための調査を行うとのことだが、具体的にはどのような調査を行うのか。

答 第八次福井市総合計画実施計画の主要な事業の一つとして「ゼロカーボンシティ推進事業」を定めており、この調査は今後5年間の取組のうち初年度となる令和4年度から実施するものである。具体的には、本市の特性などを踏まえ、どこにスポットを当てるかが温室効果ガスの効果的な削減につながるのかなどを調査し、ゼロカーボンシティの実現に資するものがどの程度あるのかを把握するもので、これを基に次年度の令和5年度以降に、本市にとって最適な計画を策定する。その後、実際の取組を進めていく予定である。

要望 調査がしっかりとされたものでないと、その後の計画が曖昧になったり、不十分なものになったりする。ゼロカーボンシティの推進につながるよう努めてほしい。

一般質問

当面する諸問題について市の考え方を質問するため、2月28日から3月2日までの3日間、23人の議員が一般質問を行いました。

※ 議員名の前の番号は質問順、()内は会派名、質問内容の掲載は大項目のみです。

<p>① 池上 優徳 (一真会)</p> <p>1 令和4年度当初予算案について</p>	<p>⑨ 堀川 秀樹 (市民クラブ)</p> <p>1 県都にぎわい創生協議会について 2 中心市街地に学生が足を運ぶ目的づくりについて 3 新型コロナウイルス感染拡大による飲食業界の疲弊について</p>	<p>⑰ 津田 かおり (公明党)</p> <p>1 新型コロナウイルス対策について 2 子育て支援の充実について 3 人口減少対策について</p>
<p>② 泉 和弥 (新政会)</p> <p>1 令和4年度当初予算について 2 道路整備について 3 自治会活動の持続可能性を高めるための取組について</p>	<p>⑩ 山田 文葉 (日本共産党)</p> <p>1 新型コロナ陽性者等への訪問介護について 2 要介護者や障がい者の住宅改修について 3 保育施設の安全について 4 文化活動の振興について 5 平和憲法について</p>	<p>⑱ 神原 光賀 (一真会)</p> <p>1 第八次福井市総合計画実施計画について 2 第4次福井市地域福祉計画について</p>
<p>③ 寺島 恭也 (一真会)</p> <p>1 企業誘致と移住・定住について 2 道路・河川・水路等の安全確保について 3 農業分野でのゼロカーボンとDXについて</p>	<p>⑪ 中村 綾菜 (無所属)</p> <p>1 子どもの感染対策について 2 福井市財政再建計画と新しく策定された福井市財政計画について 3 経済対策による地域の活性化について 4 福祉保健部の分割について</p>	<p>⑲ 野嶋 祐記 (新政会)</p> <p>1 北陸新幹線福井開業を見据えたまちづくりについて 2 行財政改革の推進について 3 福井市と民間企業や業界団体等との災害時等における協力に関する協定の締結について</p>
<p>④ 酒井 良樹 (市民クラブ)</p> <p>1 首都圏でのプロモーションについて 2 地域コミュニケーションの活性化について 3 新九頭竜橋供用開始後の対策について</p>	<p>⑫ 伊藤 洋一 (新政会)</p> <p>1 災害対策について</p>	<p>⑳ 八田 一以 (一真会)</p> <p>1 デジタルトランスフォーメーション(DX)について</p>
<p>⑤ 石丸 浜夫 (新政会)</p> <p>1 福井市西部地区の幹線道路整備状況について 2 国見岳周辺における風力発電事業への取組とその効果について</p>	<p>⑬ 今村 辰和 (一真会)</p> <p>1 小規模校における学校規模適正化について 2 山水を利用した消雪設備の整備について 3 にぎわいのあるまちづくりについて</p>	<p>㉑ 近藤 實 (無所属)</p> <p>1 子宮頸がんワクチンの積極的勧奨への心配について 2 市役所駐車場(大手駐車場)の1時間無料化について 3 特定空き家対策について 4 自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)について 5 福祉保健部を福祉部と保健衛生部に分割することについて 6 27,500万円(農業排水)の返還は予算計上すべきことについて 7 27,500万円(農業排水)を特別損失に計上することについて</p>
<p>⑥ 菅生 敬一 (公明党)</p> <p>1 ZEBについて 2 空き家の利活用について 3 猫の適正管理について 4 障がい者の手当について</p>	<p>⑭ 加藤 貞信 (新政会)</p> <p>1 第八次福井市総合計画について 2 並行在来線について 3 福井市北部地域学校規模適正化について</p>	<p>㉒ 鈴木 正樹 (日本共産党)</p> <p>1 新型コロナへの対応について 2 企業との公害防止協定と、その対応について 3 鷹巣漁港やその周辺海岸の砂の堆積について</p>
<p>⑦ 青木 幹雄 (一真会)</p> <p>1 第八次福井市総合計画について 2 図書館行政について 3 農林業について 4 入札について</p>	<p>⑮ 奥島 光晴 (新政会)</p> <p>1 第八次福井市総合計画と令和4年度当初予算案について 2 教員不足と小学校教科担任制について</p>	<p>㉓ 福野 大輔 (一真会)</p> <p>1 映画「おしよりん」について 2 全天候型の子どもの遊び場について 3 ふるさと納税について 4 福井市美術館等のホームページについて</p>
<p>⑧ 藤田 諭 (新政会)</p> <p>1 新型コロナウイルス感染症対策について 2 環境にやさしい持続可能なまちづくりについて 3 学校教育・子育て支援について</p>	<p>⑯ 岩佐 武彦 (一真会)</p> <p>1 JR越美北線の利用促進について 2 豊かな農業・農村の維持・発展について 3 ふくい桜マラソンについて</p>	

回答

当初予算では、2つの柱を基に事業を展開していく。第1の柱「福井の魅力の磨き上げ」については、新幹線開業に向けた準備を着実に実行しつつ、開業後を見据え、県都のにぎわいづくり、ふくいプロモーション、交通便利性の向上、交流人口の拡大等に取組む。

第2の柱「安全で豊かな地域づくり」については、子育て・医療支援、教育・文化の充実、防災・生活基盤の強化、産業価値の向上等に取り組む。また、輝く未来を切り拓き、持続可能な社会の実現に向け、DXやゼロカーボンシナジー実現に向けた取組を積極的に推進していく。

質問

第八次福井市総合計画の初年度に当たる令和4年度当初予算案は、将来都市像「みんが輝く全国に誇れるふくい」の実現に向けて、輝く「ふくい」の新時代へ飛躍する予算として編成したようだが、どのような考えの下に編成したのか。どのような点に力点を置いたのか。

令和4年度当初予算案について

池上 優徳 議員
一真会





いずみ かずや
泉 和弥 議員
新政会

道路整備について

質問

大東中学校前の市道は、道幅が狭い上に車の通行量も多く大変危険であるため、通学路を変更し、民家の中の狭い道を使うようになってきている。現在、市では自転車通行が可能な歩道整備事業を進めているが、進捗が見えてこない。この事業の概要と、いつ頃の完成を目指しているのか伺う。

回答

本事業は、大東中学校へ通う生徒の安全を図るため、一般県道吉野福井線と都市計画道路松岡菅谷線を南北に結ぶ道路のうち、延長約550mの区間において、幅員3.5mの自転車歩行者道を整備するものである。

事業期間は令和元年度から5年度を予定している。元年度と2年度は測量と設計を行い、3年度より用地交渉を行っており、用地が確保でき次第、随時整備を進めていく予定である。



てらしま きょうや
寺島 恭也 議員
一真会

道路・河川・水路等の安全確保について

質問

個人や会社の敷地等への歩道からの乗り入れや、水路・河川・歩道をまたいだ私有地への乗り入れにはどのような決め事があるのか。また、事故等が発生した場合の対応等と、責任者は誰となるのかを伺う。

回答

車両等が車道部から歩道部などを介して民地内に乗り入れる場合、その行為を行おうとするものは、歩道部等を横断するための乗り入れ施設を設置しなければならないこととしている。

また、事故等が発生した場合、許可を受けて行った工事で、本市が引き継いだ施設における事故については、本市が責任を負うこととなる。

一方、申請内容と違う工事が行われたことが原因となった場合等は、その工事の施工に責任を問うこととなる。なお、本市の対応としては、施工に対し工事の手直しもしくは撤去を依頼し、これに応じない場合は、法令等に基づき、監督処分を行うこととなる。



さかい よしき
酒井 良樹 議員
市民クラブ

新九頭竜橋供用開始後の対策について

質問

令和4年10月に一般県道福井森田丸岡線新九頭竜橋の開通が予定されているが、新九頭竜橋から国道416号までの東西交通量の増加予測は、また、周辺地区における安全対策にはどのように取り組むのか。

回答

令和3年度に行われた全国道路・街路交通情勢調査に合わせ、新九頭竜橋周辺の市道における交通量を調査している。今後、これらの調査結果を基に、国や県の協力を得ながら、当該地区における東西方向の交通量予測について検討を進めていく。

なお、新九頭竜橋開通後、幹線道路等の交通量が増加した場合、渋滞を回避するため、これまで以上に生活道路が抜け道として利用される可能性がある。今後、交通解析結果や開通後の実際の交通状況を確認し、地域の御意見を伺いながら、安全対策を進めていきたい。



いしまる はまお
石丸 浜夫 議員
新政会

国見岳周辺における風力発電事業への取組とその効果について

質問

2050年までに温室効果ガスの排出量をゼロとすることを目指す、いわゆるカーボンニュートラルの手段として、再生可能エネルギーの活用が考えられている。そのうち風力発電については、国見岳周辺で3社が集中して事業を進めていることとしているが、本市はこの現状をどのように考えているのか。

回答

風力発電は、枯渇するリスクがなく、発電の際に二酸化炭素などの温室効果ガスを排出しない発電方法である。また、建設費や運転維持費を含めた発電コストが低く、風があれば昼夜関係なく発電ができるため、安定的に電気を得られるメリットがある。

本市は、昨年3月にゼロカーボンシティ宣言を行ったことから、事業者には環境影響評価の手順を踏み、地元との協力を得ながら風力発電事業の進捗を図り、再生可能エネルギーの活用を進めていきたいと考えている。



すごう けいいち
菅生 敬一 議員
公明党

ZEBについて

質問

建物の断熱化や高効率設備などによる省エネルギーの推進と、太陽光発電等の再生可能エネルギーによる創エネルギーを組み合わせて、年間のエネルギー消費量を実質ゼロにすることを目指した建築物をZEBという。ZEBに対する市の見解と市有施設における取組について伺う。

回答

本市は、地域における脱炭素の取組を重視し、昨年3月に温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすることを目指すゼロカーボンシティ宣言を行った。一般的に業務用ビル等は電気使用量が多い特性があるため、ZEB化は、本市の進めるゼロカーボンシティの実現に向け大変有効であると考えており、市有施設においても、昨年8月に改定した福井市役所エコオフィスプランの環境配慮指針にZEBの推進を盛り込んだ。

今後、本市において新築を計画する際には、環境部門と連携し、ライフサイクルコストの比較検討を行った上で、ZEBの導入を進めていく。



あおき みきお

青木 幹雄 議員

一真会

農林業について

質問

若き経済学者、斎藤幸平氏は「SDGsは「大衆アヘン」である。「脱成長」こそ世界を救う！」と弁じている。こうした視点を踏まえ、国土保全の重要性にも鑑み、農業と林業との橋渡しのな中山間地域への対応は。

回答

農業分野では、中山間地域の資源を守り、農業生産活動の活性化を図るため、地域全体が継続して農地の保全に取り組み活動を支援する中山間地域等直接支払制度や農地の貸手と借手をつなぐ地域農業サポート事業などの支援を国や県と連携して行っている。

林業分野では、森林経営管理法に基づき、森林所有者が自ら管理できない森林を適切に管理していくため、森林所有者に今後の経営や管理の意向などを伺っている。これを踏まえ、境界の確認や経営管理権などの設定を行い、林業経営体に管理を委託していく。今後も、中山間地域での取組を継続し、未来に引き継ぐ森林づくりを行っていく。



ふじた さとし

藤田 諭 議員

新政会

新型コロナウイルス感染症対策について

質問

ワクチンが未接種であるため、感染が広がっている5歳から11歳児へのワクチン接種の計画は。

また、小児科での接種が中心となるが、忙しい医療体制の中、早期接種を進めるには、各方面との協力が必要となる。市の所見は。

回答

本市は、小児科での個別接種で対応することとしており、現在市内の16の医療機関で接種が可能である。あわせて永平寺町との広域接種体制で実施することから、永平寺町内の2医療機関での接種も可能となっている。接種開始は3月1日からとしており、2月18日に対象者約1万6,000人に接種券を先行発送した。2月21日から26日までは、基礎疾患のある子などの優先予約期間とし、2月28日から、一般の子どもの予約を開始している。

引き続き医療機関と連携協力を密にし、接種体制を確保したいと考えている。



ほりかわ ひでき

堀川 秀樹 議員

市民クラブ

中心市街地に学生が足を運ぶ目的づくりについて

質問

中心市街地に学生が足を運ぶ目的づくりとして需要が多かったのはラウンドワンである。そこには、若者が注目のスケボーやeスポーツができたりする人気のスポーツチャがあり、新たなラインナップも増えている。杉本知事もわくわくどきどきする街になるよう市と経済界と共に応援すると発信している。市も後押しを。

回答

旧福井西武店新館については、昨年2月から閉館しており、この状況が長期化することとは中心市街地全体に影響を及ぼすものと懸念している。

このような中、ラウンドワンについては、若者が求める機能の一つであると考えている。しかしながら、建物の所有者をはじめまちなかにはそれぞれの立場で様々な意見がある中、本市が先導して誘致に関わることは現実的には難しいと考えているところであり、同ビルの今後の活用等については、引き続き民間の動きを注視していく。



やまだ ふみは

山田 文葉 議員

日本共産党

コロナ陽性者等への在宅介護に支援を

質問

コロナ陽性者への往診や訪問看護に対し、医師は2万8,500円、看護師は1万5,600円の加算があるが、濃厚な接触が避けられない身体介護などを行うヘルパーには加算がない。コロナ陽性者や濃厚接触者のところへ訪問する場合、ヘルパーにも加算されるよう国に要望すべきである。また、国の制度ができるまで、千葉市と同様に市独自の支援金を介護事業所に支給し訪問介護を支えるべきと考えるが、市の見解は。

回答

現在、国は陽性者や濃厚接触者に対応する介護サービス事業所・施設等への支援策として、「介護サービス事業所等」のサービス提供体制確保事業を実施し、事業所が特別に手当を支給した場合の費用を支援している。

訪問介護においても医療従事者と同様に介護報酬の加算措置が行われることは、事務負担の軽減にもなり、コロナ禍でも訪問介護サービスを継続するために有効だと考えているため、国に対して、加算措置を含めた訪問介護へのさらなる支援を求めていく。



なかむら あやな

中村 綾菜 議員

無所属

飲食業者や宿泊業者に対し本市の独自の支援を行うべき！

質問

アフターコロナ、北陸新幹線福井開業という経済活性化に向けた絶対のチャンス。市が積極的な財政運営をしなれば景気は回復せず、消費も拡大しない。飲食業者や宿泊業者への本市独自の支援策を講じるべきと考えるが、本市の見解は。

回答

飲食業を含めた消費拡大の支援策については、今年度実施した、ふくい元氣「買い福回復」キャンペーンを新年度も継続して展開することで、地域経済の回復に取り組んでいく。

また、宿泊業者への独自支援策についてだが、現在観光行動が制限されており、全国的にも予断を許さない感染状況が続いていることから、国のGOTOトラベルの再開のめども立っていない。そのため、コロナ感染症の状況のほか、今後予定されている国のGOTOトラベルや県の宿泊キャンペーンの内容を踏まえ、検討していく。



いとう よういち
伊藤 洋一 議員
新政会

防災訓練について

質問

令和2年、令和3年はコロナウィルスの影響により防災訓練が中止となり、市民の防災意識の低下が危惧されるが、今年の予定はどうなっているのか。

また、洪水・土砂災害ハザードマップや、下水道内水ハザードマップが見直されたことにより、それぞれの地区の実情に応じた訓練が必要であると考えるが、所見を伺う。

回答

福井市総合防災訓練は、福井地震や福井豪雨などの自然災害の脅威と教訓を風化させることなく次世代に伝えるため、また出水期における河川の増水や台風襲来による初期対応の習得のため、今年も6月下旬の実施を予定している。訓練の実施内容は、地区の自主防災組織連絡協議会が主体となり計画している。今回改訂されたハザードマップを有効に活用し、水害に備えるための避難行動などを地区の実情に応じて盛り込み、コロナ禍にも対応した訓練を指導していく。



いまむら しんかず
今村 辰和 議員
一真会

小規模校における学校規模適正化について

質問

学校規模適正化については、県内各市町においても様々な動きが見られ、関係住民にとって大変関心の高い問題となっている。本市においても、昨年11月までに対象となった全地区で説明会、意見交換会が実施されたが、その後の各地区の動きはどのようなようになっているのか。

回答

殿下地区については、昨年度から殿下小中学校の学校規模適正化に対する同意と、地区の中心的活動拠点の整備に関する要望を受けた。美山地区については、昨年12月上旬に、現在の小・中学生や就学前のお子さんを持つ子育て世代の保護者を対象とした座談会を開催し、今後の学校の在り方などについて話し合ったところである。六条地区からは、昨年12月末に六条小学校の在り方について要望を受けた。

その他の地区からも、今後の議論を高めるためのより具体的な情報を提供してほしいとの声を聞いており、適宜対応していく。



かとう さだふ
加藤 貞信 議員
新政会

中心市街地のにぎわいと核となる商業施設について

質問

中心市街地のランドマークであり、商業の核である西武福井店がなくなれば、中心市街地のデザインの根底が崩れることになるのではないかと。福井市民として同店を応援すべきだと思つが、市長の考えは。

回答

昨年の西武福井店新館の営業終了の発表に当たり、株式会社そごう・西武の林社長と面会し、西武福井店は中心市街地はもとより地域全体の発展に不可欠であり、これからもしっかりと営業を継続してもらいたいと強く申し入れ、そのために地域全体でサポートしていくことを伝えた。

これまで本市では、イベントの開催や商圏維持・拡大のための情報発信など様々な事業を通して、中心市街地の活性化に西武福井店と共同して取り組んできた。今後も本県唯一の百貨店として営業を続けていだけるものと期待しており、本市としても市民が心を同じくして西武福井店を応援していく機運が醸成されるよう取組を進めていきたい。



おくしま みつはる
奥島 光晴 議員
新政会

教員不足と小学校教科担任制について

質問

文部科学省の小・中・高等学校の教員不足に関する実態調査によると、全国で2,065人不足していることが明らかになった。このような中、文部科学省は小学校高学年からの教科担任制を推進していく方針だが、本市の現状は。

回答

本市では、既に市内小学校全てで教科担任制を取り入れており、特に音楽、理科は全小・中学校の8割、外国語、家庭科は6割を超える学校で実施している。これらの教科については、全国と比較しても非常に高い割合である。

その要因として、小学校教員が中学校の教科免許を所有している率が9割を超えていることや、チームティーチングとして加配された教員の一部を教科担任として活用していることが挙げられる。

教科担任制の導入により、中学校への学びの連続性が確保されるほか、担任の持ち時間数が減るなど、教員の負担軽減につながるかと考えている。



いわさ たけひこ
岩佐 武彦 議員
一真会

JR越美北線への本市の対応

質問

JR西日本は、人口減少などにより採算が合わないローカル線について、「経営努力で維持していくことは困難」との認識を示し、越美北線の見直しに踏み込む意向を示している。

JR西日本の不採算路線の見直し方針について、市の認識と今後の対応について伺う。

回答

越美北線は、日常生活における重要な移動手段としてだけでなく、北陸新幹線福井開業後は観光客の二次交通としても存続していく必要があると考えている。そのため、大野市、県及びJR西日本と「越美北線観光利用促進連携協定」を締結し、越美北線の観光利用促進について協議を進めているところであり、すぐに廃線の議論になることはないと認識している。

今後も国や国会議員に対し地方ローカル線の維持存続のためのさらなる支援を要望していくとともに、JR西日本に対しても越美北線の利用促進に取り組んでいただけるよう協議していく。



つだ かおり
津田 かおり 議員
公明党

難聴児支援について

質問

生まれてくる赤ちゃんの千人に1〜2人は生まれつき耳の障がいを持つと言われていて、難聴を早期発見し、生後6か月頃までに支援を始めることで健聴者と同じようにコミュニケーションを取れるようになる。

早期発見のため、新生児聴覚検査費用の公費負担を早急にお願したいと思うが、本市の考えは。

回答

本市では、令和4年度から新生児聴覚検査に係る費用の一部を公費負担にする予定であり、現在その準備を進めている。

今後は、検査の重要性や費用の助成について周知し、受診を促すことでさらなる受診率の向上に努め、先天性聴覚障害の早期発見、早期療育につなげていく。



さかきばら みつよし
神原 光賀 議員
一真会

民生委員児童委員の現状について

質問

本市における民生委員児童委員の一人当たりの平均見守り人数を伺う。

また、重層的支援体制整備事業の実施に当たり、地域福祉活動に取り組み関係諸団体の今後の負担増を懸念するが、各団体等との協力について本市の所見を伺う。

回答

民生委員児童委員は、令和4年1月末時点で、一人当たり平均で約9人の在宅生活に不安を抱える高齢者を見守っているほか、必要に応じて障がい者世帯等の見守りもしている。

また、重層的支援体制整備事業の推進に当たっては、民生委員児童委員や地区社協などの地域団体等の協力が不可欠であるが、ひきこもりや虐待など新たな福祉課題も生まれており、活動が多忙化していることは認識している。そのため、負担を少しでも軽減できるように、新たな担い手を発掘するとともに、担い手同士の連携体制強化の中で類似する活動を協働化して行うなど、活動の効率化の支援を行っていきたくと考えている。



のじま ゆうき
野嶋 祐記 議員
新政会

北陸新幹線福井開業を見据えたまちづくりについて

質問

北陸新幹線福井開業を見据え、電車やバスなど二次交通の利便性向上を図る必要があると考えるが、ふくいMaas協議会の設立時期と構成メンバー、実証実験についてはどのように考えているのか。また、本格導入までの予定はどうなっているのか。

回答

本市では、複数の公共交通を最適に組み合わせる検索・予約・決済等を一括で行うMaas（マース）の導入に取り組んでいる。

ふくいMaas協議会は、ふくい嶺北連携中枢都市圏11市町に加え、交通事業者や大学、マスコミ、金融、商業、観光分野の方々で構成し、今年5月に立ち上げる予定である。

また、実証実験については、令和4年度に切符のデジタルチケット化及び乗車券と観光施設の入館料等がセットになったデジタルチケットの導入実験を行う。この実験結果を踏まえ、令和5年度にMaasアプリのシステム構築を行い、北陸新幹線福井開業までには本格導入できるように進めていく。



はった いちい
八田 一以 議員
一真会

DXについて

質問

第八次福井市総合計画や行政改革指針を見ても、DX施策は少なく、また数値目標が明確なものも1項目だけで、5年後に電子自治体になるイメージが湧かない。本市も行政のデジタル化に果敢に挑戦してほしい。職員のトップから末端までDXリテラシーの向上が必要であると考えているが、所見は。

回答

本市がDXを推進するためには、情報収集、方向性判断、意思決定、行動をループさせる、いわゆるOODA（ウィング）ループや、BPR（業務改革）といった手法の採用と併せて、職員のDXリテラシーの向上が不可欠であると考えている。

来年度から、職員に対しDXに関する基礎的な研修を徹底するとともに、DX意識の醸成を目的とした管理職対象の研修や、各局に新たに設置するDX推進リーダーの育成を目的とした研修などを実施していく。



こんどう みのる
近藤 實 議員
無所属

子宮頸がんワクチンの積極的勧奨への心配について

質問

厚生労働省によると、「重篤な症状の報告頻度は1万人当たり5人となっているが、今回のHPVワクチンは、2013年に定期接種になった時のワクチンと同じものか。より安全なワクチンが開発されているのか。

また、積極的勧奨に当たっては、説明会・相談会を何度か開催してはどうか。

回答

今回のHPVワクチンについては、新たなワクチンが開発されたとの情報は得ていない。

また、定期接種の対象である年度末年齢12歳から16歳の女子に対し、個別の案内通知や予診票の送付を順次行っていく。その際、対象者や保護者が接種を検討・判断できるように、ワクチンの効果だけでなくリスクや相談先についても詳細に記載したリーフレットを同封する予定である。

さらに今後、市医師会と協議の上、ケーブルテレビ等を通じての情報提供や相談会の実施についても検討していきたい。



すずき しょうじゅ
鈴木 正樹 議員
日本共産党

コロナ禍の今、保健所保健師の増員が必要

質問

保健所の保健師の時間外労働は、第5波で過労死ラインの月80時間を超える方が出ることが3か月も続いた。今回の第6波でも、過労死ライン超えが何か月も続く見込みである。他部署からの応援職員を入れても、保健師が過労死するような長時間勤務が繰り返される。保健師の増員が必要ではないのか。

回答

これまでも、感染拡大時には福祉保健部内の保健師を保健所に配置するとともに、陽性者の発生状況によっては総務部の保健師を追加配置するなど、柔軟に対応しているところである。保健師は、感染症対策以外にも市民の健康管理や健康増進に係る業務に従事しているため、その配置については平常時の体制を基本に考えている。その上で、感染拡大の状況によっては、適時、全庁的な応援体制を組み合わせ、引き続き効率的かつ機動的に対応していく。



ふくの だいすけ
福野 大輔 議員
一真会

映画「おしよりん」について

質問

麻生津地区が舞台の映画「おしよりん」を活かした本市の新幹線開業前の観光プロモーションを期待するが、本市はどのように考えているのか。

回答

このチャンスを最大限に生かすため、観光プロモーションを行うことが重要であると考えている。具体的には、映画の舞台となる麻生津地区やロケ地となった県内各スポットのほか、福井の眼鏡産業の歴史や眼鏡づくりに関する県内の体験施設等を紹介するパンフレットを作成し、県内外の映画館等で配布する。また、麻生津地区と連携し、同地区が福井の眼鏡産業発祥の地であることを、訪れる観光客に情報発信できるようにPR看板等を設置する。さらに、映画の撮影期間には地域と映画出演者との交流の機会を設け、出演者の発信力を生かして本市のイメージアップにつなげる。

映画「おしよりん」の全国公開は、福井の知名度向上や観光誘客、地域経済の活性化につながるものと考えており、福井の魅力を全国に発信できるように取り組んでいく。

予算特別委員会

各党派における
主な質疑内容を
紹介します。

一真会

- | | |
|--------|-------|
| 見谷 喜代三 | 堀江 廣海 |
| 福野 大輔 | 水島 秀晃 |
| 寺島 恭也 | 榊原 光賀 |

○まちづくり

問 本市は中心市街地の活性化を図るため、準工業地域だけでなく、近隣商業地域においても大規模集客施設の立地を制限している。今回、アリーナ施設候補地に上げられた東公園は、中心市街地のエリア外であることに加え、第一種住居地域であることから、多くの集客を見込む施設の候補地とすること自体が適切ではないと考えるが、都市計画の考え方とどのように整合を図るのか。

答 用途地域による東公園の土地利用規制については課題として認識している。また、東公園は都市計画で運動公園として位置づけていることに加え、過去には観客を5,500人収容できる野球場として広域的に利用されていた経緯があり、アリーナについても広域的に利用されるスポーツ施設であることから、運動公園としての機能は大きく変わらな

いと考えている。

今後は、アリーナの基本構想案が示される中で、用途地域や都市公園の在り方など、総合的な視点から立地の実現手法について検討していきたい。

○農業問題

問 コロナ禍での米価下落が小規模農家へ多大な影響を与えている中、県外では集落法人化を目指すグループ営農に対し、農業機械の共同購入費を補助するなど、小規模農家を支援するための取組を実施している自治体もある。本市でも国や県の施策に沿った大規模農家への支援だけでなく、小規模農家への市独自の支援策を実施すべきではないのか。

答 本市独自の取組として、新規、首都圏等で開催される就農イベントで、また、ふくい園芸カレッジ受講生に対し、本市への就農を積極的に呼びかけている。さらに、今年度はスマート農業導入実証事業を実施し、国や県の事業の対象とならない比較的小規模な農業者を対象としたスマート農業の導入に対する支援を行った。

現在、米価は大幅に下落しており、また、原油価格の高騰や農業用資材の値上がりにより、農業経営が非常に厳しい状況にあることから、今後速やかに農業者への独自支援策を検討することとしており、これがまともな次第、実施していきたい。

新政会

- | | |
|-------|-------|
| 田中 義乃 | 藤田 諭 |
| 泉 和弥 | 伊藤 洋一 |

○新ごみ処理施設整備・運営事業

問 燃やせる粗大ごみの破砕を行う前処理設備は、現在の施設とどのような点が異なるのか。

答 家具やじゅうたん、畳など燃やせる粗大ごみの破砕を行う前処理設備については、処理能力を10%増やし、5時間当たり5.5tとする計画である。また、処理可能な枝などの太さを現施設では10cmまでとしているが、新クリーンセンターにおいては、15cmまで対応できるようにする計画であるため、これまで処理できなかったサイズのごみも受け入れることが可能となり、市民にとってより利便性の高い施設となる。

市民クラブ

片矢 修一 酒井 良樹

○ヤングケアラー実態調査

令和3年6月定例会で、今後、生活に関するアンケート調査を実施するとの答弁があったが、どのような調査を実施したのか。また、その調査結果からどのような課題が見え、それら課題に対して今後どのように取り組んでいくのか。

答 実態調査については、昨年9月から10月にかけて、県が県内の高校2年生及び中学校2年生、約1万3,800人を対象に実施した。また、今年2月からは、本市が各小・中学校で定期的に実施している学校生活に関するアンケートを活用し、家庭での困りごとがないかを確認するよう努めている。県の調査によると、本市にはヤングケアラーと疑われる子どもが38人おり、そのうち約4割が「誰にも相談したことがない」と回答した。ヤングケアラーは、家庭内のデリケートな問題であることや、本人・家族に自覚がないといった理由から、表面化しにくく適切な支援につながりにくいことなどが課題である。

今後小・中学校での定期的なアンケート調査を継続する

ほか、高校生については県と連携しながら個々の状況把握に努めていく。こうした取組を通じて、ヤングケアラーと疑われる子どもを発見した場合には、スクールカウンセラーなどが個別面談を行い、家庭状況に応じてヘルパーを派遣したり、介護や障害サービスにつなげていくなど、子どもの負担軽減、孤立防止に努めていく。

公明党

菅生 敬一 津田 かおり

○子宮頸がんの予防

国のHPVワクチン接種の積極的勧奨の再開を受け、令和4年度からHPVワクチン接種推進事業を開始することだが、接種の積極的勧奨が差し控えられていた期間に接種の機会を逃した女性に対しても接種を実施することになる。大幅に増加する対象者に対し、どのように接種案内を行うっていくのか。また、接種機会を逃した対象者はどのように把握するのか。

答 ワクチンの供給や接種体制等を考慮し、順次行っていく予定である。具体的には、まず定期接種対象者のうち1

6歳を迎える方に対し、本年4月から案内の送付を開始す

る。以後、3か月程度の間隔を空けて、1歳ずつ年齢を繰り下げて送付し、来年2月頃に1番年齢の低い12歳の方に送付する予定である。また、接種機会を逃した対象者については、予防接種台帳の記録から抽出して把握することが可能である。

日本共産党

鈴木 正樹

○自治体独自の学費支援

本市は住民福祉を担う自治体としてだけでなく、中核市としても、独自の奨学金や学生ローンの返済支援制度の創設を検討すべきと考えるが、市としてどのように考えているのか。

答 学生が安心して学べる環境づくりは非常に大切なことであると考えている。国は、経済的理由により大学や専門学校への進学を諦めないよう、令和2年度に給付型奨学金を大幅に拡充し、これにより一定の年収基準を下回る世帯も対象となった。本市では、このよ

うな国の制度や、その他多くの奨学金制度の中から、相談者一人一人の状況に応じた情報をリストアップし、丁寧に説明している。今後も窓口を訪れた市民に寄り添った対応を行い、支援につなげていきたい。

(3月定例会) 議案等の審議結果

議案番号	件名	審議結果	賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は11頁に掲載)
第1号議案	令和4年度福井市一般会計予算	3月23日 原案可決	●
第2号議案	令和4年度福井市国民健康保険特別会計予算	// //	●
第3号議案	令和4年度福井市後期高齢者医療特別会計予算	// //	●
第4号議案	令和4年度福井市介護保険特別会計予算	// //	●
第5号議案	令和4年度福井市母子父子寡婦福祉資金貸付特別会計予算	// //	●
第6号議案	令和4年度福井市競輪特別会計予算	// //	●
第7号議案	令和4年度福井市宅地造成特別会計予算	// //	●
第8号議案	令和4年度福井市中央卸売市場特別会計予算	// //	●
第9号議案	令和4年度福井市駐車場特別会計予算	// //	●
第10号議案	令和4年度福井市集落排水特別会計予算	// //	●
第11号議案	令和4年度福井市地域生活排水特別会計予算	// //	●
第12号議案	令和4年度福井市水道事業会計予算	// //	●
第13号議案	令和4年度福井市簡易水道事業会計予算	// //	●
第14号議案	令和4年度福井市下水道事業会計予算	// //	●
第15号議案	福井市部設置条例の一部改正について	// //	●
第16号議案	福井市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	// //	●
第17号議案	福井市公衆浴場の設置場所及び衛生等に関する基準を定める条例の一部改正について	// //	●
第18号議案	福井市市税賦課徴収条例の一部改正について	// //	●
第19号議案	福井市特別会計条例及び福井市国民健康保険診療所基金条例の一部改正について	// //	●
第20号議案	福井市一乗谷朝倉氏遺跡復原町並の設置及び管理に関する条例の一部改正について	// //	●
第21号議案	福井市市営競輪場内売店使用料徴収条例の一部改正について	// //	●
第22号議案	福井市消防団条例の一部改正について	// //	●
第23号議案	福井市児童館条例の一部改正について	// //	●
第24号議案	包括外部監査契約の締結について	// //	●
第25号議案	福井市の特定の事務を取り扱う郵便局の指定の取消しについて	// //	●

議長の動静(令和4年1月～3月)

1月26日	福井県市議会議長会 定期総会(書面開催)
31日	全国競輪主催地議会議長会 役員会(書面開催)
2月2日	全国市議会議長会 第226回理事会・第112回評議員会合同会議(書面開催)
	北信越市議会議長会 理事会(書面開催)
16日	福井県市町振興協会 理事会、第52回福井県自治会館組合議会 定例会、定例福井県市町総合事務組合議会
17日	福井県後期高齢者医療広域連合議会 全員協議会、臨時会
22日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会 運営懇話会(あわら市)
3月29日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会 議員全員協議会、第183回定例会(あわら市)
	福井県後期高齢者医療広域連合議会 定例会

3月定例会

2月18日	本会議
21日	議会運営委員会
28日	本会議(一般質問)
3月1日	本会議(一般質問)
2日	本会議(一般質問)
3日	総務委員会、建設委員会
7日	教育民生委員会、経済企業委員会
8日	教育民生委員会
16日	予算特別委員会
17日	予算特別委員会
18日	議会運営委員会
23日	議員全員協議会、本会議

定例会外の議会日程(令和4年1月～3月)

1月18日	議会運営委員会
2月7日	財政再建下での持続的市勢発展対策特別委員会
14日	議会運営委員会、議員全員協議会

編集後記

ウクライナの戦火は、多くの人々の尊い命や生活を脅かしています。戦争ほど悲惨で残酷なものはなく、いつも犠牲になるのは弱い立場の庶民です。平和を奪うロシアの暴挙は断じて許すことはできません。

令和4年3月定例会では、ロシア連邦によるウクライナ侵略に抗議する決議を可決しました。世界の平和を目指して声をあげていきます。(津田・山田)

一般質問の録画映像を各議員ごとにスマートフォンやタブレット端末で見ることができます。

一般質問ページにおいて、各議員の顔写真欄にある二次元コードをスマートフォンやタブレット端末から読み取ると、その議員の一般質問の動画が視聴できます。



請願・陳情等の提出について

請願・陳情などは、基本的にいつでも提出できますが、年4回(3・6・9・12月)開催される定例会で審議されますので、提出時期等詳細については事前に議会事務局へお問い合わせください。

傍聴してみませんか

傍聴できる会議

なお、本会議、予算特別委員会の模様は、ケーブルテレビのふくチャンネル121chで生中継及び録画放送されます。

傍聴をご希望される方へ

新型コロナウイルス感染症の予防及び拡大防止に向けて、一定の間隔を確保してご着席いただくため、当分の間、傍聴席への入場を下記のとおり制限させていただきます。

- ・議場:40人まで うち車イス4席(本会議及び議員全員協議会など)
- ・各委員会室:2人まで(常任委員会など)

※議場は席によって温度差があるため、傍聴の際には温度調整ができるような服装でお越しいただくことをおすすめします。

本会議

定員97人 うち車イス6席

常任委員会

総務、建設、教育民生、経済企業

議会運営委員会

特別委員会

財政再建下での持続的市勢発展対策、予算

議員全員協議会

今回は
6月定例会
です

日程は
ホームページに
掲載します

福井市議会 日程

検索

市議会HPIは
こちらから



お問い合わせ

議会事務局 庶務課

0776-20-5506